

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数
---------	---	--------

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	公益社団法人大阪市音楽団	団体ウェブサイトURL https://shion.jp
代表者職・氏名	理事長・石井徹哉	
制作団体所在地	〒 559-0022	最寄り駅(バス停) Osaka Metro 四つ橋線北加賀屋
	大阪市住之江区緑木1-4-138	
電話番号	06-6684-2130	
ふりがな 公演団体名	おおさかしおんういんどおーけすとら Osaka Shion Wind Orchestra	団体ウェブサイトURL https://shion.jp
代表者職・氏名	楽団長・石井徹哉	
公演団体所在地	〒 559-0022	最寄り駅(バス停) Osaka Metro 四つ橋線北加賀屋
	大阪市住之江区緑木1-4-138	
制作団体 設立年月	平成25年12月	
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等
	理事長 石井徹哉 理事 池田勇人、長谷行康、延原弘明、池末浩規、西上雅章、喜多弘悦、岡本健一	理事:8名、監事1名、正会員:5名、顧問1名、楽団員32名、事務職員11名 加入条件:オーディション等による
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者置く	本事業担当者名 長谷行康
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名 國府利支恵

本申請にかかる連絡先
(メールアドレス)

hase@shion.jp

制作団体沿革	<p>大正 12(1923)年 元陸軍第四師団軍楽隊有志により「大阪市音楽隊」を結成。 昭和 9(1934)年 大阪市直営の楽団となる。 昭和 21(1946)年 大阪市音楽団と改称。 昭和 54(1979)年 大阪芸術賞(府・市)を受賞。 昭和 56(1981)年 市音楽団事務所・練習場を天王寺公園内から大阪城公園内へ移転。 昭和 63(1988)年 日本民間放送連盟賞・ラジオ番組娯楽部門最優秀賞を受賞。 平成 26(2014)年 大阪市直営から「一般社団法人 大阪市音楽団」として民営化。 平成 27(2015)年 楽団名称を「大阪市音楽団」より「Osaka Shion Wind Orchestra(通称 Shion)」と改称。</p>				
学校等における公演実績	<p>昭和 38(1963)年より吹奏楽普及のため、学校の体育館や施設などにて児童・生徒のための公演を実施してきました。開始当初は年間 20 公演程度の公演数が、昭和 50 年代には年間 80 公演を超える回数となりました。また、児童・生徒への情操教育の一貫として、音楽専用ホールにて鑑賞ができるように、現在大阪市内において、合同音楽鑑賞会として実施しています。また、近くにホールがない学校に対しては、従来とおり体育館などでの演奏活動も続けています。</p> <p>近年の学校公演の実績 平成 26(2014)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム 26 公演(参加 119 校)、「学校訪問型鑑賞会」プログラム 26 公演。 平成27(2015)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム10公演(参加44校)、「学校訪問型鑑賞会」プログラム 20 公演 平成28(2016)年度「学校訪問型鑑賞会」プログラム20公演、「合同音楽鑑賞会」プログラム 18 公演、「長野県長野市小中学校学校巡回公演」 平成29(2017)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム12公演、「長野県松本市小中学校学校巡回公演」 平成30(2018)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム12公演 平成31(2019)年度「合同音楽鑑賞会」プログラム12公演</p>				
特別支援学校等における公演実績	<p>平成27(2015)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会) 平成28(2016)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会) 長野県長野市小中学校巡回公演(長野ろう学校、若槻養護学校、長野盲学校) 平成 29(2017)年度 長野県松本市小学校巡回公演(松本ろう学校、松本養護学校、寿台養護学校、松本盲学校) 平成30(2018)年度 大阪市視覚支援特別学校(合同音楽鑑賞会) 令和元(2019)年 大阪府立生野支援学校、大阪府立北視覚支援学校(合同音楽鑑賞会) 令和2(2020)年 大阪府立住之江支援学校(合同音楽鑑賞会) 令和3(2021)年 大阪府立生野支援学校、大阪府立大阪北視覚支援学校、大阪府立住之江支援学校、大阪府立生野聴覚支援学校(合同音楽鑑賞会) 令和4(2022)年 大阪府立大阪北視覚支援学校、大阪府立大阪南視覚支援学校小学部、大阪府立生野支援学校、大阪府立住之江支援学校、大阪府立難波支援学校(合同音楽鑑賞会) 令和5年度 大阪府立大阪北視覚支援学校、大阪府立住之江支援学校、大阪南視覚支援学校、大阪府立難波支援学校(合同音楽鑑賞会)</p>				
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	<p>有</p>			
	※公開資料有の場合URL	<p>低学年・中学年 https://youtu.be/jaS8gs1ouwE 高学年・中学生 https://youtu.be/INAAiSPrtn4</p>			
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="938 1715 1018 1765">ID:</td> <td data-bbox="1018 1715 1447 1765">無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="938 1765 1018 1794">PW:</td> <td data-bbox="1018 1765 1447 1794">無</td> </tr> </table>	ID:	無	PW:
ID:	無				
PW:	無				

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】

対象	小学生(低学年)	○	/	
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	吹奏楽って何だろう?~楽器の特徴と役割から指揮者体験まで~鑑賞から楽しく学び取ろう!【小学生(低学年・中学年)向けおよび、小学生(高学年)・中学生向け】			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>行進曲「威風堂々」第1番 E.エルガー/編曲 A.リード(共通) 《楽器紹介》ミッキーマウス・マーチ J.ドッド/編曲 星出尚志(共通) ジュピター讃歌 G.ホルスト/編曲 J.デメイ(小学低・中学年) ルーマニア民俗舞曲 B.バルトーク/編曲 小林久仁郎(小学低・中学年) 大阪俗謡による幻想曲(カット版) 大栗裕/編曲 辻井清幸(小学高・中学) ~休憩~ アルセナール J.ヴァンデルロースト(共通) オリент急行 P.スパーク(小学低・中学年) 交響曲 第1番「指輪物語」から《魔法使いガンダルフ》J.デメイ(小学高・中学) 《指揮者体験コーナー》歌劇「カルメン」から前奏曲 G.ビゼー/編曲 高昌帥(共通) 見上げてごらん夜の星を(ファイブ・サクソ・コンチェルト) いずみたく、L.アンダソン/編曲 宮川彬良(共通) 宝島 和泉宏隆/編曲 真島俊夫(共通) En.星条旗よ永遠なれ/J.P.スーザ(小学低・中学年は「校歌」の選択肢あり)</p> <p style="text-align: right;">公演時間90分(休憩あり) 分</p>			
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし		該当コンテンツ名
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	内部保有
演目概要	別添あり[別添]			
演目選択理由	別添あり[別添(2)]			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>【体験・参加型プログラムとして】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.指揮者体験:代表生徒に実際口指揮を体験し、音楽の構造口と関わりを学びます。 2.校歌斉唱(小学校選択式):当団の伴奏で合唱し、参加者全員で一つの音楽を作る体験をします。 3.吹奏楽部との共演(中学校選択式):当団演奏の中に入り一緒にを行い、曲想と音楽の構造と関わりについて学びます。 4.手拍子による演奏参加:アンコールでは、校歌や合同演奏といった参加がない場合でも、指揮者の誘導により手拍子で演奏参加の体験ができます。 			
出演者	<p>指揮者:堀俊輔、司会者:未定吹奏楽:Osaka Shion Wind Orchestra 1923年(大正12年)に誕生以来『Shion(しおん)』の愛称で親しまれている日本で最も長い歴史と伝統を誇る交響吹奏楽団。 2014年大阪市直営より民営化。2015年3月に「大阪市音楽団」より「Osaka Shion Wind Orchestra」と改称。 クラシックからポピュラーまで多彩なコンサートを展開し、各都市での演奏会をはじめ幼稚園から高等学校までの音楽鑑賞会、 中学校高等学校での吹奏楽講習会、CD録音など、幅広い活動を通じて音楽文化の向上と発展のために力を注いでいる。 全日本吹奏楽連盟制作のコンクール課題曲参考演奏の収録、選抜高等学校野球大会入場行進曲収録を担当し、テレビ朝日 「題名のない音楽会」、NHK「どれみふぁワンダーランド」出演など全国区での活動を展開。 また、大阪城音楽堂での「たそがれコンサート」や駅コンサートなど地元大阪に根づいた活動も行っている。 これまでに3度の大阪文化祭賞、日本民間放送連盟賞、日本吹奏楽アカデミー賞演奏部門賞、大阪芸術賞、なにわ大賞を受賞。 現在、音楽監督に宮川彬良、芸術顧問に秋山和慶が就任している。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	<p>預押車1、可成有 1 搬送車4R 事務用4、フルバ イト4、トラック2</p> <p>出演者: 50 名 スタッフ: 10 名 合計: 60 名</p>	運搬		<p>積載量: 3.5/2 t 車長: 7.3/6.5 m 台数: 2 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時		13時30分～15時	15分	15時～16時30分	17時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	0日	0日	10日	13日	
	11月	12月	1月	計	82日	
14日	19日	16日				

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	合奏50名(舞台)、合唱500名(客席)
		鑑賞人数目安	2000名まで(校外施設等利用含む)

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20～500名
ワークショップ 実施形態及び内容	別添あり[別添(3)]		
ワークショップの ねらい	別添あり[別添(4)]		
その他ワークショップに 関する特記事項等	実際の内容がわかる進行台本を添付いたします。 別添あり[別添(5)～添付(13)]		

<p style="text-align: center;">本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>弊楽団は、2014年に民営化以後、大阪市から全国へ活動の拠点を広げてまいりました。鑑賞会事業につきましても近年積極的に取り組んでおり、音楽専用ホールにて鑑賞ができるように、現在大阪市内において、合同音楽鑑賞会として複数校同時に鑑賞していただく「合同音楽鑑賞会」のスタイルで、実施しています。また、近くにホールがない学校に対しては、従来通り体育館などでの演奏活動も続けています。この「学校巡回公演事業」におきましても、令和3年度に初めてにご採択いただいて以来毎年続けさせていただいております。</p> <p>実施校様より、「インターネットやCDと言ったデジタルな音楽を通常は聴いている中で、吹奏楽の生のサウンドが、これほど素晴らしく、自然と涙がこみ上げて来るものだと、正直思っていないでした。」と評価していただきました。我々といえども、日常的に全国各地へこの感動をお届けし、この体験が小学生・中学生の時期にしか味わえない「一生の宝物」となることを願っております。</p> <p>吹奏楽の持つ多様性を活かした演目で、音楽に対する垣根を取り払い、同じ吹奏楽を志す生徒との合同演奏による交流では、同じジャンル直接演奏技術を伝える事など、弊楽団ならではのスキルが御事業の目的の一助となれば幸甚です。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>第一に、前段階で実施校と綿密に打ち合わせ、ワークショップの際の下見においても、入校可能時間帯（登下校時間帯を避ける）搬入動線、舞台位置、鑑賞位置、設備確認などを十分にさせていただき、前日、あるいは当日のセッティングおよび撤収が安全かつ円滑に遂行できる体制作りを実施いたします。</p> <p>第二に、校内で先生や児童・生徒へ接する際は、どんな状況であっても安全配慮に従事し、笑顔で気持ちよく挨拶ができるよう、人とのコミュニケーションを何より大切に、信頼関係の中でスムーズなワークショップ、本公演を実施して参りたい所存です。</p> <p>また、公演実績を実施校の許可のもと、公式SNSにも掲載し、「学校巡回公演事業」のPRとともに、広く周知することで、より身近な事業である事をお伝えしていきます。</p> <p>最後に、以下「令和3年度の指針」を基本とし引き続き遂行して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会実施テンプレートに沿って、不備がないか双方よりチェックして実施します。 ・テンプレート以外にも、下見や打合せを綿密し、学校の実情把握にも努めます。 ・担当教員が全教員への説明をしやすい資料作りの協力をいたします。 ・担当教員がわかりやすいように、公演準備お願い書(テンプレート)を作成し、それを基に準備方法についてもわかりやすくお伝えいたします。 ・地域毎の特性や事情に配慮し、各学校の要望を最大限お聞きします。 ・鑑賞する児童・生徒が音楽に相当の興味をもっている訳ではないので、興味の幅を広げる工夫として、誰もがその場で取り組めて参加できるプラン作りをいたします。 ・学校での鑑賞会の記憶は、体験と動画となるため、右脳に作用し長く留まるといわれております。立奏等、分かりやすいパフォーマンスの提供や、共演者の配置などにも気を配り、映像としても、印象に残りやすい公演作りをいたします。 ・一期一会ではあるかも知れませんが、訪問先の学校校内で出会った児童・生徒とは、しっかりと挨拶を交わし、演奏からだけでなく、人として基本的なことを示します。 ・開催地では、節度を持った行動をし、本公演が素晴らしいものになるよう努めます。 ・上記内容は公演に参加する楽団員、事務局員が共有し、気持ちの良い公演となるよう努めます。
---	---

リンク先	No.2	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
演目選択理由	<p>【行進曲「威風堂々」第1番 /E.エルガー(A.リード編曲)】</p>	<p>この曲は日本でもよく耳にする有名な中間部をもつクラシックの名曲です。コンサートのオープナーとして使用することで、これから始まる演奏会の雰囲気や期待感を高め、学校や近隣施設が非日常の空間に変わる体験効果が見込まれます。</p>
	<p>【ミッキーマウス・マーチ (楽器紹介)/ J.ドッド/(星出尚志編曲)】</p>	<p>世界中で愛される「ミッキーマウス・マーチ」のメロディに乗せて吹奏楽で使用する主な楽器が順番にご紹介します。児童・生徒の方が木管楽器、金管楽器、打楽器の名前と形や音色の違いを楽しみながら理解するのに相応しい曲です。</p>
	<p>【ジュピター讃歌(組曲「惑星」から木星より)/G.ホルスト(J.デメイ編曲)】</p>	<p>吹奏楽作曲家として数々の名曲を作曲しているヨハン・デメイが、ホルストの書いた組曲「惑星」より木星の有名な中間部のメロディーをモチーフに書いた楽曲です。このアレンジではコラール風に始まり、徐々に楽器を増しながらハーモニーを広げていき、重厚感ある感動的なエンディングへと到達します。吹奏楽の響きを理解する導入曲として小学生にもわかりやすい選曲としております。</p>
	<p>【ルーマニア民俗舞曲 / B.バルトーク (小林久仁郎編曲)】</p>	<p>ワークショップで、音階の説明で各国の民謡を演奏して音を実際に聴いてもらっています。全6曲からなるこの曲を取り入れることでテンポや曲想の違いを短い時間に体感していただき、音楽から異国情緒を味わうことができます。</p>
	<p>【アルセナール/A.J.ヴァンデルロースト作曲】</p>	<p>この曲は、ベルギーの作曲家ヤン・ヴァンデルローストが1995年に書いた行進曲です。公演の中では、休憩後の1曲目として位置付けており、長さも適度なため、再度音楽を集中して聴く体制に戻しやすい効果が期待できます。</p>
	<p>【オリエント急行/P.スパーク】</p>	<p>この曲はヨーロッパ大陸を横断する「オリエント急行」の旅の様子を描いた情景描写曲です。出発前の駅の賑わい、車のクラクションや列車の汽笛のあと車掌のホイッスルが鳴り、徐々にスピード度を上げて出発する情景、楽しい旅の気分の音楽や、終着駅で豪快にスチームを噴き出す音響までが描かれ、児童や生徒の想像力が掻き立て、楽しめる選曲としています。</p>
	<p>【～指揮者コーナー～歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー】</p>	<p>初心者でも振りやすい2拍子の楽曲の中でも、自身がイメージしている楽曲のテンポと指揮をする時の手の動きをより具体的に想像しやすいように、学校の授業や、テレビで取り上げられている耳馴染みのある楽曲としてこの曲を選曲しました。</p>
	<p>【ファイブ・サクソ・コンチェルト(見上げてごらん夜の星を) /いずみたく、L.アンダソン/宮川彬良】</p>	<p>昭和を代表する曲「見上げてごらん夜の星を」が、当楽団の音楽監督宮川彬良の巧みなアレンジによって、異なるサクソフォンが次々と登場するファイブ・サクソ・コンチェルトとして完成しました。5種類のサクソフォンが奏でる、全く違うジャンルの音楽の数々をお楽しみながら手拍子をして、リズムに合わせて自然に身体が動くような演出も用意しており、音楽を心から楽しんでもらえるように選曲しました。</p>
	<p>【宝島/和泉宏隆 (真島俊夫編曲)】(共演可)</p>	<p>吹奏楽界で高い人気のある楽曲であるため、中学校吹奏楽部との合同演奏のしやすいこの曲を選曲いたしました。中間部にアルト・サクソフォンのソロや、トランペット、トロンボーンによるソリも楽団員が生徒の方へレクチャーする機会にもなります。</p>
	<p>En.【星条旗よ永遠なれ/J.P.スーザ】</p>	<p>この曲は、マーチ王と言われるアメリカの作曲家ジョン・フィリップ・スーザの代表作です。アンコールとして手拍子を促しやすい行進曲を取り上げました。</p>
	<p>En.【校歌(選択式)】</p>	<p>各学校の校歌を吹奏楽版オリジナルアレンジの伴奏で歌っていただきます。アレンジされた楽曲はCDに予め録音し、学校に楽譜と共にプレゼント致します。</p>
	<p>【大阪俗謡による幻想曲/大栗裕作(辻井清幸編曲)】</p>	<p>大阪に生まれた作曲者の大栗裕の作品は、音楽でありながら、民謡や民話など民族性や物語性にも重きを置き、聴くものに深く印象をもたらす曲が多く、この楽曲も、同じ地元の当楽団のために書かれており「大阪らしさ」を日本各地へお届けするのに相応しい1曲として選びました。</p>
<p>【交響曲第1番「指輪物語」から第1楽章「魔法使いガンダルフ」/J.デメイ】</p>	<p>イギリスの作家ジョン・R・R・トールキンのファンタジー小説『指輪物語』を題材に、書かれたデメイの最初の本格的な作曲作品。全5楽章から成る交響曲の対局の中から第1楽章を取り上げ、交響曲の導入としても、小学生(高学年)・中学生にも親しみやすく、理解しやすい題材となっています。</p>	

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p style="text-align: center;">ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>時間を大きく2コマに分け実施します。</p> <p>本公演のテーマである「吹奏楽」を理解していただくため、前半に管楽器の構造や成り立ちを実演奏やスライド映像を交え、分かりやすく説明しながら、音の出る仕組みを学び吹奏楽で使用される楽器について学びます。写真やイラストで楽器の形や名前を覚えていただく事で、本公演で実際の楽器を目にした時の印象が大きく異なります。</p> <p>後半では公演で聴く楽曲の説明や作曲された背景を学びます。また、聴き所を実演奏やスライドを交えてわかりやすく説明し本公演に向けてより興味を持って聴けるような準備をいたします。</p> <p>最後に楽団員によるアンサンブル演奏を実演し、小編成ながらも、合奏の仕組みを実際に感じてもらい、本公演への関心を高めます。</p> <p>また、ワークショップから本公演までの期間中、課題を一つ決め、取り組んでいただきます(例として本公演の演奏曲を毎日昼休みに流すなど、当楽団の演奏CDを授業で聴いておく。指揮者コーナーの練習、全員合唱の練習など)。これにより児童、生徒のモチベーションが上がり本公演までの期間が生きたものになり、公演への期待も高まります。</p> <p>中学校で吹奏楽部との合同演奏の希望がある場合は、共演曲などを題材に基礎練習など、合奏でのポイントや音楽の楽しみを体感していただきます。</p> <p>主指導者1名、楽団員3名(木管楽器1名、金管楽器1名、打楽器1名)を予定。</p>	<p>[2021年度ワークショップ資料より]画像左上:前半スライドを交えた講義。画像右上:前半楽器のしくみ説明。画像左下:後半リズム体験(コール&レスポンス)。画像右下:指揮法解説と指揮者体験。</p>    

管楽器は「吹く」ことにより音が出る楽器ですので、その「吹く」ことによって「なぜ音が出るのか」実際に楽器を使いながら分かりやすく構造を説明し、生身の人間が創る音楽芸術の素晴らしさを感じ取っていただきます。また、予習を通じて、音楽を聴くだけではなく、自分自身が実際に体感することによって得られる要素を合わせて学び、本公演への準備をいたします。また吹奏楽部との合同演奏では、自分自身が演奏することにより奏でる音を通じて、音との結びつきも合わせて学び、実演芸術の素晴らしさを体感できます。本公演では、鑑賞教室のスタイルは取っているものの、あくまでも演奏会として楽しんでいただきたと考えており、当日、難しい説明ではなく、聴く側と同じ目線に立った進捗を心がけます。本公演までの準備期間を活用するため、下記の通り、ワークショップ後に簡易な課題例をお示しいたします。各学校で何か1つでも積極的に取り組んでいただくことで、児童・生徒の皆さんが純粋に生の音楽に触れ、作り込まれた音の1つ1つを身体全体で受け止めていただき、鑑賞体験がよりスムーズで豊かなものになるように願っております。

- 1)演奏曲の中の数曲を校内放送などで継続的に流していただき、当日への期待感を高める。または、授業でCD鑑賞の時間を持っていただく。
 - 2)校歌を選択された学校では、参加される児童・生徒の皆さんで、放課後やオリエンテーションの時間を利用してクラス単位で練習してもらおう。
 - 3)合同演奏を希望されるクラブ活動におきましては、できれば当日の演奏やパフォーマンスに集中できるよう暗譜できるレベルまで練習してもらおう。
- 上記の取り組みにより、児童・生徒の皆さんのモチベーションが上がり、本公演までの経験も生きたものとなり、公演への期待も高まり、公演の成功へと導きます。

[2021年度ワークショップ資料より(抜粋)]

ワークショップのねらい

楽器のお話

高き音から低い音まで

金管楽器 (ラッパのなかま)

トランペット

ホルン

トロンボーン

チューバ

ユーフォニアム

木管楽器 (ふえのなかま)

ピッコロ

フルート

オーボエ

クラリネット

サクソフォン

ファゴット

バス・クラリネット

打楽器

(たたいて音を出すなかま)

シンバル

タンバリン

グロッケン

ティンパニ

シロフォン

ドラムセット

トライアングル

カスターネット

大太鼓

小太鼓

ドラム

コントラバス

音階のお話

ドレミファソラシド

(全音)(全音)(半音)(全音)(全音)(全音)(半音)

音階とは「音の階段」

音の高さ順に並べたもので、基本は「ドレミファソラシド」のように決まった音程をもつ。

音階は世界各国の民謡のように地域や民族によって特徴的な種類がある。1オクターブに5つの音をもつ五音音階が多い。

日本の代表的な音階

民謡音階: ド、ミ、ファ、ソ、シ

都節音階: ド、ミ、ファ、ソ、ラ

律音階: ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ

いろんな音階

基本の音階

ドレミファソラシド

1 2 3 4 5 6 7 8

アジアの音階 (4-7抜き音階)

ドレミソラド

例: アリラン (朝鮮民謡)

琉球音階 (2-6抜き音階)

ドミファソシド

例: ていんざくぬ花 (沖縄県民謡)

アラビア音階

ドレミファソラシド

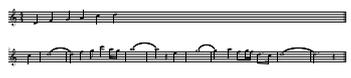
例: パッカナル (歌劇「サムソンとデリラ」より)

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p style="text-align: center;">令和5年度 学校巡回公演事業</p> <p style="text-align: center;">ワークショップ 台本 (Cl.Hn.Perc 編) 改定版</p> <p style="text-align: center;">製作 公益社団法人 大阪市音楽団</p> <p style="text-align: center;">1</p> <p>イギリスの軍楽隊隊長フェントンによって、明治2年(1869年)に日本で初めての軍楽隊が作られ、30名の日本の生徒に指導したことはじまった。</p> <p>④</p> <p>日本には150年前に伝わったのですが、その時は、江戸時代から明治時代が変わった直後で、その20年前にアメリカのペリーが黒船で浦賀にやって来たのをきっかけに鎖国が解かれ、江戸が東京に変わったばかりと思えば、意外に早く伝わっていますよね。</p> <p>日本で最初に吹奏楽の演奏を聴いた人はきっと、金管楽器・打楽器の音量には驚いたに違いありません。</p> <p>[point] 日本の吹奏楽の元祖は、幕末の薩摩藩に設置された「鼓笛隊」である。これが「薩摩藩軍楽隊」となり(指揮していたのは、最初の《君が代》の作曲者で、イギリス陸軍軍楽隊長だったジョン・ウィリアム・フェントン)、明治維新後、同隊を吸収する形で「陸軍教導団軍楽隊」が設置された。いわゆる「陸軍軍楽隊」である。</p> <p style="text-align: center;">3</p>	<p>オープニング～ごあいさつ～</p> <p>④</p> <p>みなさんこんにちは。</p> <p>私たちはオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラという交響吹奏楽団です。</p> <p>これからみなさんに「吹奏楽」のお話をしていきます。</p> <p>「吹奏楽ってなんだろう?」と思った人もいると思います</p> <p>が、ひとつひとつ説明していきますので、しっかりと覚えて帰ってくださいね。</p> <p>私は、(コンサートの指揮と)本日のワークショップの進行役を務めます〇〇です。どうぞよろしくお願いします。</p> <p>それでは、はじめははじまり～(拍手)</p> <p>吹奏楽の歴史 ～日本の吹奏楽のはじまり～ (ガイドブック2ページ)</p> <p>日本に吹奏楽が伝えられたのは今から約150年前の薩摩(鹿児島)日本の国歌「君が代」の原型の作曲者である</p> <p style="text-align: center;">2</p> <p>みなさんは「軍楽隊」をイメージできますか?</p> <p>現代の日本では、自衛隊の音楽隊や、警察音楽隊、消防音楽隊のように制服を着て演奏したり、「マーチング」というスタイルで歩きながら演奏したりする楽団の事です。</p> <p>オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラのように、座って演奏することに特化したスタイルの交響吹奏楽団もあります。</p> <p>中学校や高等学校の吹奏楽部では、マーチングと座奏(座って演奏するスタイル)の両方で活動している事も珍しくありません。</p> <p>日本に初めて誕生した30名の軍楽隊から、150年後の現代では、吹奏楽人口が120万人を超えるまでに膨らみ、世界で一番とまで言われていますが、その大多数が、みなさんの少し先輩の中学生、高校生の方達です。</p> <p>どうですか、吹奏楽が少しずつ身近になってきましたか?</p> <p style="text-align: center;">4</p>

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>楽器のお話① ～金管・木管編～ (ガイドブック 3ページ)</p> <p>⑤</p> <p>それでは、楽器のお話に入ります。</p> <p>みなさんは、どんな楽器の名前を知っていますか？</p> <p>【会場】</p> <p>「トランペット」、「ピアノ」、「リコーダー」、「ハーモニカ」、「ドラム」、「カスタネット」 etc.</p> <p>⑥</p> <p>たくさん知っていますねー！</p> <p>今から私たち吹奏楽団にある楽器についてお話していきます。</p> <p>吹奏楽では大きく分けて、三つのグループの楽器が使われています。</p> <p>1、息を入れて音を鳴らす【管楽器】</p> <p>2、たたいて音を出す【打楽器】</p> <p>5</p>	<p>3、弓で弦をこすったり、指で弾いたりして音を出す【弦楽器】です。</p> <p>それではまず最初に、息を入れて音を鳴らす【管楽器】をご紹介します。</p> <p>管楽器の特徴は、管の長さが長くなると音が低くなり、管の長さが短くなれば音が高くなる性質があります。</p> <p>簡単にいうと、小さな楽器ほど音が高く、大きな楽器ほど音が低くなります。</p> <p>みなさんの身近な楽器ではソプラノリコーダーとアルトリコーダーがわかりやすいと思います。</p> <p>ソプラノリコーダーの方が小さくて高い音が出ますよね。また、穴を指で全部塞ぐと管が一番長くなり低い音になり、順に指を離していけば、穴から息が漏れて管の長さが短くなるため音が高くなる性質を利用して、ドレミファソラシドが吹けるようになっています。</p> <p>管楽器には大きく分けて二つのグループがあります。</p> <p>6</p>
	<p>金属でできた【金管楽器】と、木でできた【木管楽器】があります。</p> <p>「え？木管楽器の中に金属の楽器が混じっているって？」</p> <p>いいところに気がきましたね。</p> <p>オーボエやクラリネット、ファゴットは木でできていますが、フルートやサクソフォンは金属でできています。</p> <p>フルートは、昔は木でできていましたが、大きな音で遠くまで響かせるために金属に変化していきました。</p> <p>また、サクソフォンは生まれた時から金属ですが、クラリネットと同じように吹くところにリードという竹のような素材を振動させて音を出す構造なので木管楽器の仲間です。</p> <p>吹奏楽の木管楽器は通常、金管楽器よりも多く指揮者の近くに並んでいます。特徴は、楽器により音が出る仕組みが3種類あるので、音色が豊かである事、細かい音符を早く演奏することが得意です。</p> <p>7</p>	<p>音が出る仕組みについて少し説明すると、</p> <p>①吹き口の穴に角度をつけた息を吹き込んで鳴らす方法（フルート）</p> <p>飲み物が入った瓶の口に息を上手く入れても同じように音が出ます。</p> <p>②1枚のリード※を息で振動させて音を出す方法（クラリネット、サクソフォン）</p> <p>※「葦（ヨシ）」（英語名 reed）というイネ科ヨシ目の草の茎を乾燥させて薄い板状に削ったもの。</p> <p>③2枚のリードを糸で合わせて、その隙間に息を入れてリードを振動させて音を出す方法（オーボエ、ファゴット）があります。</p> <p>どの楽器も本当にとっても魅力的な音があります。</p> <p>【実演】</p> <p>それでは、クラリネットで実際の楽器の構造を見ていきましょう。</p> <p>8</p>

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>いくつかのパーツからできていますね。</p> <p>(クラリネットの場合、ネックを外して、マウスピースをはずして、リードを外して、一旦分解してもらいます。)</p> <p>※ケースから出して組み立てていくも可</p> <p>クラリネットから音が出る部分を見て見ましょう。</p> <p>「リード」を「マウスピース」につけます。この時「リガチャー」という部品で固定します。</p> <p>「バレル」と呼ばれる「俵管」につけ、上管、下管、ベルを装着すれば、クラリネットの組み立てが終了します。</p> <p>音は後で、聴いていただきますね。</p> <p>【実演 (ホルン)】</p> <p>次に、金管楽器についてお話しします。</p> <p>見た目がピカピカと光った金属でできていること以外にも大きな共通点があります。それは音を出す仕組みです。大きさは楽器によって様々ですがどの楽器も唇の振動をマ</p> <p>9</p>	<p>ウスピースで楽器本体に伝えて増幅して響かせる仕組みです。</p> <p>金管楽器は木管楽器より管が長いので、このように丸めて持ち運べる形になっています。</p> <p>今回はとみなさんに分かりやすいようにモデルを作ってきましたのでご覧ください。(ホースホルンを伸ばして見せる)</p> <p>長いですよ～。どのくらいの長さがありますか？</p> <p>(ホルン奏者)</p> <p>はい。伸ばすと約4メートルです。</p> <p>これに似た形の楽器としては、スイスのアルプホルンがあります。</p> <p>㊦</p> <p>皆さんは、スイスのアルプスの山の麓で木の長いアルプホルンを吹いているのを見たことはありませんよね？</p> <p>10</p>
	<p>これは、ホースでできたモデルだから、音は出ませんよね？</p> <p>【ホルン奏者】</p> <p>音は出せます。ちょっと吹いてみます。(マウスピースをつけて単音を鳴らす)</p> <p>㊦</p> <p>おー。本当に音が出ましたね。でも音階はできませんよね？</p> <p>【ホルン奏者】</p> <p>フレンチホルンと同じように唇の形を変化させて音階ができると思いますよ。やってみましょう。(もう一度マウスピースを差して、自然倍音で High D まで)</p> <p>㊦ (拍手しながら)</p> <p>いやー。本物より少し小さいですが、ちゃんと音が出ましたね。</p> <p>11</p>	<p>楽器のお話② ～打楽器・弦楽器編～ (ガイドブック4ページ)</p> <p>㊦</p> <p>それでは、次に叩いて音を出す【打楽器】の紹介をします。(打楽器奏者が前に出る)</p> <p>今日持ってきている楽器は何ですか？</p> <p>【打楽器奏者】</p> <p>スネアドラム (小太鼓) です。</p> <p>㊦早速ですが、スネアドラムの構造と、基本のスティックの持ち方、基礎的な奏法をいくつか教えてください。</p> <p>【打楽器奏者】</p> <p>○楽器の構造の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面貼り ・響き線 (On と Off) <p>○スティックの持ち方の説明</p> <p>12</p>

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>・マッパド・グリップ</p> <p>・レギュラー・グリップ (トラディショナル・グリップ)</p> <p>○基本奏法 (全て説明と実演)</p> <p>・シングルストローク</p> <p>・ダブルストローク</p> <p>・クローズドロール</p> <p>・ダブルストローク</p> <p>・リムショット (各種)</p> <p>㊦</p> <p>ありがとうございました。1つの楽器でもたくさんの演奏方法があって、全く違う表現ができることがよく分かりましたね。</p> <p>(時間があれば補足説明)</p> <p>胴に牛の革を張った【太鼓】の仲間</p> <p>Bass drum (大太鼓)、スネアドラム (小太鼓)、ティンパ</p> <p>13</p>	<p>ニです。革の張り具合である程度音程を変えることができますが、あとで紹介する鍵盤楽器のようにドレミファソラシドと音階を作るのはとても難しいです。</p> <p>次に、鍵盤楽器の仲間を紹介します。木の板を少しずつ長さを変えて並べて2本のバチで叩く木琴 (シロフォン) と、同じように金属の板を少しずつ長さを変えて並べて2本のバチでたたく鉄琴 (グロックンシュピール)。</p> <p>そして、金属のお皿を2枚合わせたシンバル、木や貝殻を2枚合わせたカスターネット、鉄の棒を三角形に曲げたトライアングルも打楽器の仲間です。</p> <p>時には、フライパンをお箸で叩いたり、ホイッスルを吹いたり、お寺の木魚を叩いたりするのも打楽器パートの役目です。</p> <p>㊦</p> <p>それでは最後に弓で弦をこすったり。指で弾いて音を出す</p> <p>14</p>
	<p>【弦楽器】のお話をします。</p> <p>皆さんはヴァイオリンという楽器をテレビや画像で見たことはありますか？</p> <p>吹奏楽では基本【管楽器】が多いですが、コントラバスという大きなヴァイオリンのような形をした【弦楽器】があります。今日は持ってきていないですが、大きさは1.8m~2mくらいです。もちろん手に持って首に挟んで演奏できませんので、立って演奏します。</p> <p>左手は楽器を持ち、ギターのような弦が貼ってある指板を指で押さえて音程を変えます。</p> <p>弓は、弓矢の「弓」と同じ字を書きますが、馬の尻尾でできています。</p> <p>(できれば弓だけ持っていき、毛の部分の緩めて、馬の尻尾感を見せる) 半年に1回は毛を貼り替えます。</p> <p>また面白いことにコントラバスの弓は弦楽器の中で一番短いです。</p> <p>15</p>	<p>これで、吹奏楽に使われる楽器の説明は終わりです。</p> <p>後半では、今日来ている楽器の音をたっぷりと聴いていただきますので楽しみにしてください。</p> <p>それでは、前半の最後に音階のお話をします。</p> <p>※ここまでで40分経過している場合は「音階のお話」は休憩後の後半へ</p> <p>音階のお話① (ガイドブック5ページ)</p> <p>音階とは音の高さの順に並べたもので、分かりやすく言えば、「音の階段」のことです。</p> <p>フランスのバリ「モンバルナス駅」や、メキシコ合衆国の首都メキシコシティの地下鉄には、実際にピアノの鍵盤を階段が作られていて、歩くときも音も出るため、エスカレーターではなく階段を利用する人が増えて、運動不足や、心地よい音でストレス解消に役立っているようです。</p> <p>16</p>

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>皆さんが知っている「ドレミファソラシド」は1オクターブ（半音で12つ）に音が7つの音階です。</p> <p>音階の隣り合う音の幅（音程）には決まりがあります。ピアノの白鍵と黒鍵の数を数えてみると、ドからシまでの間に12個あります。</p> <p>1個で半音2個で全音（1音）となりますので、ドレミファソラシドは「ド」と「レ」の間は全音、「レ」と「ミ」の間は全音、「ミ」と「ファ」の間は半音、「ファ」と「ソ」の間は全音、「ソ」と「ラ」の間は全音、「ラ」と「シ」の間は全音、最後「シ」と「ド」の間は半音になっています。</p> <p>私も小学生の頃に「全」「全」「半」「全」「全」「全」「半」と覚えた記憶があります。</p> <p>それでは日本の代表的な音階「民謡音階」をクラリネットに</p>	<p>演奏してもらいます。（ステージにピアノがある場合はピアノでも可）</p> <p>【クラリネット奏者】実演 民謡音階&「リンゴ追分」</p> <p>クラリネットinB♭（民謡音階/リンゴ追分）</p>  <p>Ⓢ</p> <p>ありがとうございました。「リンゴ追分」ですね。ちゃんとこの音階が使われていました。</p> <p>音階のお話② (ガイドブック6ページ)</p> <p>それでは、いろんな音階を見ていきましょう。</p> <p>まずは、ホルンで「アジアの音階」を使った曲を演奏してもらいましょう。</p>
	<p>17</p> <p>【ホルン奏者】(実演) アジアの音階&朝鮮民謡「アリラン」を実演 inF</p> <p>ホルン in F ②</p>  <p>Ⓢ</p> <p>ありがとうございました。朝鮮民謡のアリランですね。日本でも親しみやすい美しいメロディーですね。</p> <p>今のは3拍子、でしたが、こちらを6/8拍子で演奏したらどうなるかやってみましょう！</p>	<p>18</p> <p>U2&・タリシ・カウ・クワツ・ウ・タシ・メ</p>  <p>リズム・バリエーション・ホルン inF</p> <p>どうでしたか？先ほどのゆったりした3拍子（1小節に4分音符3つ）に比べて、6/8拍子（1小節に8分音符が6つ）の方が音の数も増えて、動きが付きましてね。</p> <p>続いて琉球音階をクラリネットに演奏してもらいましょう。</p> <p>【クラリネット奏者】 (実演) 琉球音階&沖縄民謡</p> <p>19</p> <p>20</p>

リンク先

No.3

【公演団体名

Osaka Shion Wind Orchestra

】

その他ワークショップに関する特記事項等

クラリネット編曲 (沖縄謡曲「いんさぐぬ花」) クラリネット

⊕

はい、ありがとうございました。沖縄民謡の「ていんさぐぬ花」でしたね。同じ日本の中でもこんなに表情が違うものですね。

では、この曲もリズムを変えて演奏してもらいましょう。

クラリネット編曲 (沖縄謡曲「いんさぐぬ花」) クラリネット

21

ホルン in F

「ドラゴンクエスト」からリフレイン

クラリネット編曲 (クラリネット編曲) クラリネット

いかがでしたか？蛇がニョロニョロと出てきそうな音楽でしたね。

それでは、これで前半を終わります。

ここで、【10分間休憩】します。後半は皆さんにも参加してもらおうコーナーもありますので、お楽しみに！

23

跳ねるリズムに変えると踊りだしたくなりましたね。

それでは、最後にホルンに「アラビア音階」を演奏してもらいましょう。

【ホルン奏者】

(実演) アラビア音階&パッカナール

ホルン in F

アラビア音階

サムソンとデリラより「パッカナール」

⊕

はい、ありがとうございました。今の曲は、サン＝サーンスが作曲した、歌劇「サムソンとデリラ」よりパッカナールの旋律でした。今度は、クラリネットとホルンの2重奏でもう1曲「ピラミッド」という曲を聴いてください。

●後半の流れ

- ・木管、金管楽器奏者によるレクチャーと任意のソロ曲 (各10分)
- ・打楽器奏者によるレクチャーと任意のソロ曲、リズムでのコール&レスポンス (10分)
- ・指揮者による指揮法レクチャー(全体)と体験コーナー(児童2~3名) 10分
- ・本日の感想・質問コーナー5分

⊕

それでは、後半を始めます。

本日来ています楽器を改めて紹介します。

まず【木管楽器】からクラリネットです。

どうやって音階を吹いているか説明をお願いします。

【クラリネット奏者】

はい、クラリネットは指でキィを押さえる事で、トーンホー

22

24

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>ルと呼ばれる穴を塞ぎます。全部塞ぐと低い音になり、徐々に開けていく事で、音が高くなる構造です。</p> <p>このキィの組み合わせによって半音階やドレミファソラシドを演奏することができます。(実演)</p> <p>クラリネットは、1700年代にさかのぼります。フランスで生まれた『シャリュモール』という、リコーダーのような楽器を、ドイツ・ニュルンベルクの楽器職人、ヨハン・クリストフ・デンナーが改造して製作したのが始まりと言われていま</p> <p>す。</p> <p>最初は今のようによくさんのキィがついていませんでした(左手人差し指で押さえるキィと、左手親指で押さえるキィの2つだけ)が、徐々に時間をかけて現在のようになっ</p> <p>ていきました。デンナーの改造によって得られた音域の音色が、高音トランペットの『クラリーノ』に似ていたため、『クラリネット』という名前がついたと言われています。</p> <p>※その他、クラリネット(楽器)に関する情報を補足してください。</p> <p style="text-align: center;">25</p>	<p>クラリネットの事を少しわかっていただいたところで、演奏</p> <p>します。</p> <p>まずは、この曲を聴いてください。</p> <p>(実演) 任意のソロ曲※曲の解説と実演をお願いします。</p> <p>それでは最後に皆さんがよく知っている曲を演奏します。手拍子をお願いします。(生徒に手拍子を促して実演)</p> <p style="text-align: center;">クラリネットinB♭「クラリネットこわしちゃった」</p>  <p style="text-align: center;">Ⓢ</p> <p>(拍手を受けて)ありがとうございました。</p> <p>クラリネットがところどころ壊れていましたよね。</p> <p style="text-align: center;">26</p>
	<p>それでは、最後に【金管楽器】のホルンです。</p> <p>お願いします。</p> <p>【ホルン奏者】(10分間)</p> <p>みなさん、改めてこんにちは。ホルンは金管楽器の仲間ですが、木管楽器とも相性が良く、一緒にアンサンブルをします。楽器の誕生は、先ほどのアルト・サクソフォンよりもっと古く、400年以上前の16世紀には馬に乗りながら肩に担いで、狩の信号ラッパとして使われていました。この時邪魔にならないようにベルが後ろを向いていたり、右手がベルの中に入っていたりするのは、ホルンの大きな特徴です。これにより様々な音色が変えられます。</p> <p>【ゲシュトツプフト奏法】</p> <p>前半に登場したホースのホルンがりましたが、昔は今のよう</p> <p>にバルブがなかったため、ドレミファソラシドが演奏できませんでした。ある時右手でベルを塞ぐとそれまで出せな</p> <p>かった、「レ」「ファ」「ラ」「シ」が演奏可能になりました。</p> <p style="text-align: center;">27</p>	<p>今から、右手無しの音階(自然倍音)と、右手を使った音階</p> <p>を聴いてください。うまく聞こえたら拍手をください。</p> <p>(実演)</p> <p>今は、バルブの発明のおかげで、半音階ができるようになっ</p> <p>ています。(実演)</p> <p>また、ホルンの特徴であるグリッサンド奏法を聴いてくださ</p> <p>い。(実演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔らかい音 ・割れた大きな音 <p>それでは、これから曲を演奏します。</p> <p>【実演】任意のソロ曲または、ホルンの有名なオケスタ等</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モーツァルトホルン協奏曲第1番より第1楽章 ・くるみ割り人形「花のワルツ」 ・白鳥の湖 <p style="text-align: center;">28</p>

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>㊦</p> <p>(拍手の中)</p> <p>ありがとうございました。続いて【打楽器】スネアドラムです。前半で少し触れましたが、響き線というものが、楽器の裏側についていまして、これを皮にくっつけると独特の音色になるのが特徴です。ドラムセットにもこのスネアドラムがあります。</p> <p>響き線がある時とない時のロールを聞き比べてみましょう。</p> <p>(実演) 2種類</p> <p>では、スネアドラムのソロの曲を聴いてみましょう。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>【打楽器奏者】</p> <p>(実演) 任意の曲を演奏 曲目解説&実演お願いいたします。</p> <p>㊦</p> <p>(拍手の中)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">29</p>	<p>それでは、ここからはみなさんにも参加していただきます。</p> <p>これからスネアドラムにリズムを叩いてもらいます。よく聞いてから私が合図をしたら、そのリズムを手で叩いてください。</p> <p>それでは行きますよ。最初のリズムをお願いします。</p> <p>【打楽器奏者】(実演)</p> <p>例) タンタンタタタン タンタタタン</p> <p>(様々なパターンでだんだん難しく！5、6パターンくらいお願いします。)</p> <p>㊦</p> <p>覚えましたか？(不安そうならもう一度叩いてもらう)</p> <p>a それでは、みんなで一緒に手拍子でリズムを叩いてください。</p> <p>さん、はい(せーのー)</p> <p>【児童】バンバンバババン バンバババン</p> <p>㊦</p> <p style="text-align: center;">30</p>
	<p>みなさんその場に静かに立ちましょう。</p> <p>b 今のリズムを足でできるかな？</p> <p>【児童・生徒】ダンダンダダダン ダンダダダン</p> <p>上記別 a.b パターンで5、6回繰り返し</p> <p>㊦</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>㊦</p> <p>それでは最後に指揮者の説明をします。</p> <p>指揮配置図 (ガイドブック 11ページ)</p> <p>次にやってくるオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラのメンバーは約50名です。</p> <p>この人数が一斉に音を出すと、プロでもどうしてもズレて演奏できません。そこで指揮者が必要となってきます。</p> <p>(この後、指揮者の大切な役割についてご説明お願いいたします。)</p> <p style="text-align: center;">31</p>	<p>指揮者の大切な役割がわかったところで、みなさんにも指揮をしてもらいます。</p> <p>今から演奏する曲は、コンサートでも指揮者体験コーナーで演奏する歌劇「カルメン」から前奏曲です。</p> <p>それでは、一度演奏してみますね。</p> <p>(全員で実演)(拍手)</p> <p>では、一度みなさんと、指揮の練習をしてみましょう。</p> <p>この曲は2拍子なので、アルファベットのVの文字を描くように、振ってみましょう。</p> <p>上手ですね。</p> <p>難しいのは曲の始まりです。</p> <p>いきなり腕を動かし始めても、オーケストラは音が出せません。</p> <p>2拍の空振りいれて、その時の速さと腕の振り方の大きさで、曲の速度と音量が決まります。</p> <p>(全員の指揮で実演)</p> <p style="text-align: center;">32</p>
	<p style="text-align: center;">31</p>	<p style="text-align: center;">32</p>

リンク先	No.3	【公演団体名 Osaka Shion Wind Orchestra 】
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>それではこれから3名の方に指揮の体験をしてもらいます。</p> <p>【選出例】</p> <p>学年別など、あらかじめ先生に3名選出してもらおう。</p> <p>(ステージに上げずに、最前列の前に出てきてもらい指揮をしてもらう。)</p> <p>それではお願いします。</p> <p>(実演)×3名繰り返し。※各パートの楽譜は別紙ありがとうございました。</p> <p>これで、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラのワークショップは終わりです。感想がある人は聞かせてください。</p> <p>質問がある人もお願いします。(5分程度/質疑応答)</p> <p>それでは、コンサートでまたお会いしましょう!さようなら(終了)</p> <p style="text-align: center;">33</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra	】
<p style="text-align: center;">演目概要</p>	<p>【行進曲「威風堂々」第1番 /E.エルガー(A.リード編曲)】(共通)</p> <p>行進曲「威風堂々」第1番は、イギリスの音楽家エドワード・エルガーが作曲した管弦楽のための行進曲集の1曲です。特に中間部の旋律は有名で、イギリスでは「希望と栄光の国」と題され、第2の国歌として愛唱されるほどです。</p> <p>【ミッキーマウス・マーチ(楽器紹介)/J.ドッド/(星出尚志編曲)】(共通)</p> <p>世界中で愛される「ミッキーマウス・マーチ」のメロディに乗せて吹奏楽で使用する主な楽器が順番にご紹介します。木管楽器、金管楽器、打楽器の名前と形に注目して、音色の違いを聞き分けていただきます。</p> <p>【ジュピター讃歌(組曲「惑星」から木星より)/G.ホルスト(J.デメイ編曲)】(小学校低学年のみ)</p> <p>吹奏楽作曲家として数々の名曲を作曲しているヨハン・デメイが、ホルストの書いた組曲「惑星」より木星の有名な中間部のメロディーをモチーフに書いた楽曲です。実際の惑星の中でそうであるように、「木星」は組曲「惑星」の中で最もスケールの大きい楽曲で、特に中間部はイギリスの愛国歌「祖国よ、我は汝に誓う」という歌になっているほどの美しさがあります。このアレンジではコラール風に始まり、徐々に楽器を増しつつハーモニーを広げていき、重厚感ある感動的なエンディングへと到達します。</p> <p>【ルーマニア民俗舞曲 / B.バルトーク(小長久仁郎編曲)】(小学校低学年のみ)</p> <p>この曲の原曲はルーマニア地方に伝わる民謡をハンガリーの作曲家バルトークが、ピアノのために作曲した組曲です。曲ごとにテンポや曲想が違い、棒踊り、飾り帯の踊り、足踏み踊り、角笛の踊り、ルーマニア風ポルカ、速い踊りの6曲です。</p> <p>【アルセナル/A.J.ヴァンデルロースト作曲】(共通)</p> <p>この曲は、ベルギーの作曲家ヤン・ヴァンデルローストが1995年に書いた行進曲です。明るく力強い前奏に続き、グランドマーチ風のTrioの展開など、その場に臨む者を高揚させずにはおかない、魅力的なコンサートマーチとなっています。</p> <p>【オリент急行/P.スパーク】(小学校低学年のみ)</p> <p>1986年BBC放送(英国放送協会)の委嘱により、金管バンドの編成で作曲され、後に作曲者のフィリップ・スパーク自身により吹奏楽版に編曲されたこの曲は、ヨーロッパ大陸を横断する「オリент急行」の旅を描いたもので、出発前の駅の賑わい、車のクラクションや列車の汽笛のあと車掌のホイッスルが鳴り、豪華列車が発発する情景を見事に描いています。</p> <p>【～指揮者コーナー～歌劇「カルメン」より前奏曲より抜粋/G.ビゼー】(共通)</p> <p>オペラの冒頭、第1幕への前奏曲です。冒頭の力強いメロディーは第4幕の「行進の音楽」から引用されています。指揮体験をしてもらうために中間部の穏やかなフレーズ「闘牛士の歌」をカットし、約半分のサイズに縮めています。</p> <p>【ファイブ・サクソ・コンチェルト(見上げてごらん夜の星を) /いずみたく、L.アンダソン/宮川彬良】(共通)</p> <p>昭和を代表する曲「見上げてごらん夜の星を」が、当楽団の音楽監督をつとめる「宮川彬良」の巧みなアレンジによって、様々なサクソフォンが次々と登場するファイブ・サクソ・コンチェルトとして新たな息吹を与えられました。5種類のサクソフォンが奏でる、全く違うジャンルの音楽の数々をお楽しみください。</p> <p>【宝島/和泉宏隆(真島俊夫編曲)】(吹奏楽部との共演可)</p> <p>日本のフュージョン・バンドT-SQUAREのヒット曲を、吹奏楽のオリジナル作品を数多く作曲している真島俊夫が、楽しいラテン調のリズムにアレンジした、吹奏楽界で高い人気のある楽曲です。中間部にアルト・サクソフォンのソロや、トランペット、トロンボーンによるソロも現れます。</p> <p>En.【星条旗よ永遠なれ/J.P.スーザ】(共通)</p> <p>この曲は、マーチ王と言われるアメリカの作曲家ジョン・フィリップ・スーザの代表作です。曲の後半にはアメリカの3つの地域を表すメインメロディー(北部)、ピッコロの旋律(南部)、力強いトロンボーンメロディー(西部)を持ち、この3つを同時に響かせることでまさにアメリカそのものを表現しており、アメリカの第2の国家とも言われています。</p> <p>En.【校歌(選択式)】(小学校低学年のみ)</p> <p>各学校の校歌を吹奏楽版オリジナルアレンジの伴奏で歌っていただきます。アレンジされた楽曲はCDに予め録音し、学校に楽譜と共にプレゼント致します。</p> <p>【大阪俗謡による幻想曲/大栗裕作(辻井清幸編曲)】(小学校高学年・中学校のみ)</p> <p>作曲家の大栗裕(おおぐり・ひろし)は1918年(大正7年)大阪に生まれました。彼の作品には一貫して大阪に因んだ民謡や民謡などに題材を求めたものが多く、その作曲の姿勢から“東洋のバルトーク”と言われています。1974年に大栗氏は当楽団のために、この曲を吹奏楽曲として編曲し、</p> <p>大阪の伝統の響きの象徴ともいえる天神祭のだんじり囃子(だんじり囃子を表現したこの音楽では「双盤」とも呼ばれる大形の「当り鉦(あたりがね)」が大活躍します。)、それから大阪の生魂(いくたま)神社の夏の獅子舞に聴かれるリズムで滑稽なお囃子の旋律(ピッコロで演奏されます。))などが組み合わせられ大阪の多彩な夏の響きが表現されます。そして再びゆっくりとした間奏がはさまれますが、再びハイテンポにもどってリズムのはげしさを強調しながら華やかに曲を終えます。全曲演奏しますと長い曲のため今回は短くしたダイジェスト版を使用しています。</p> <p>【交響曲第1番「指輪物語」から第1楽章「魔法使いガンダルフ」/J.デメイ】(小学校高学年・中学校のみ)</p> <p>イギリスの作家ジョン・R・R・トールキンのファンタジー小説『指輪物語』を題材に、書かれたデメイの最初の本格的な作曲作品で、主要な登場人物である灰色の魔法使いガンダルフを描いた楽章。ファンファーレに続き、賢明で高潔なガンダルフの主題が現れます。その後、愛馬『飛蔭(とびかげ)』に跨り疾走する様子がスピード感豊かに描かれています。P</p>			